

ゴム硬さの測定

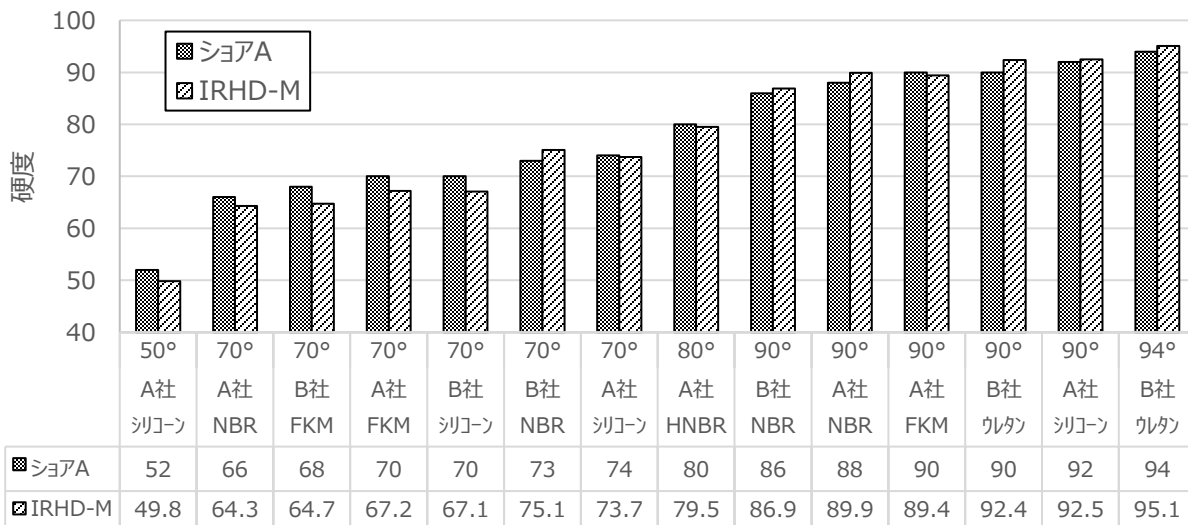
ゴム材質の硬さは硬さ試験機をゴムに押し当てて測定します。
硬さ試験機の押針先でゴムを加圧し、ゴムにひずみを与えます。
この時の針の侵入深さをメモリ上に表したものを硬度としています。

弊社では、スプリング式(ショアAタイプ)と低荷重式(IRHD-Mタイプ)での硬度測定が可能です。

通常、ゴム材質はショアAタイプで表現されるケースがほとんどですが、ショアAタイプでは厚み6mm以上のサンプルが必要です。ところが、実際に硬度を測定したいOリングやパッキンのような小さい物は、厚みがそれに満たず、測定ができないケースが多々あります。そのためIRHD-Mタイプでの測定にて硬度を測定する場合もございます。

良くお問合せ頂く事が、ショアAとIRHD-Mの測定値に相関性があるかという声です。
測定原理が違うため明確な相関性はありませんが、近似値を示すことは確かです。
そこで、実際にショアA(厚み6mm)とIRHD-M(厚み2mm)で測定・比較してみました。

ショアA-IRHD-Mの硬度比較



硬度が低い場合、IRHD-Mの値が低く出やすい傾向あることがわかりました！

現品そのもののゴム硬度測定も受け付けております。
是非ご相談下さい。